

Ⅱ 調査結果の概要

< A 発育状態 >

1 身長・体重・座高の茨城県平均値

(1) 身長

男子の身長は、6歳、8～10歳、12歳で前年度より伸びている。各年齢間の身長差は、11歳と12歳の間が7.6cmと最も大きく16歳と17歳の間が0.3cmと最も小さい。なお、10歳の139.6cmは過去最高となっている。

女子の身長は、9～11歳、17歳で前年度より伸びている。各年齢間の身長差は、10歳と11歳の間が7.0cmと最も大きく、15歳と16歳の間が0.1cmと最も小さい。なお、17歳の158.3cmは過去最高となっている。

また、10歳で0.7cm、11歳で2.0cm、男子の身長が女子の身長を下回っている。

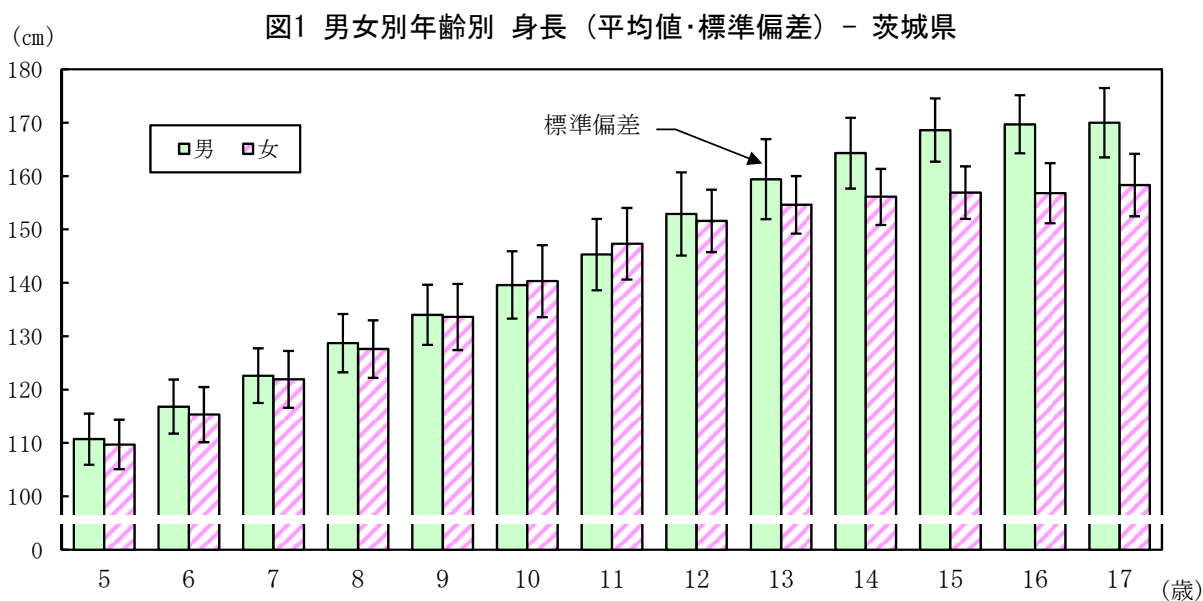
(表1, 図1・2-1・2-2)

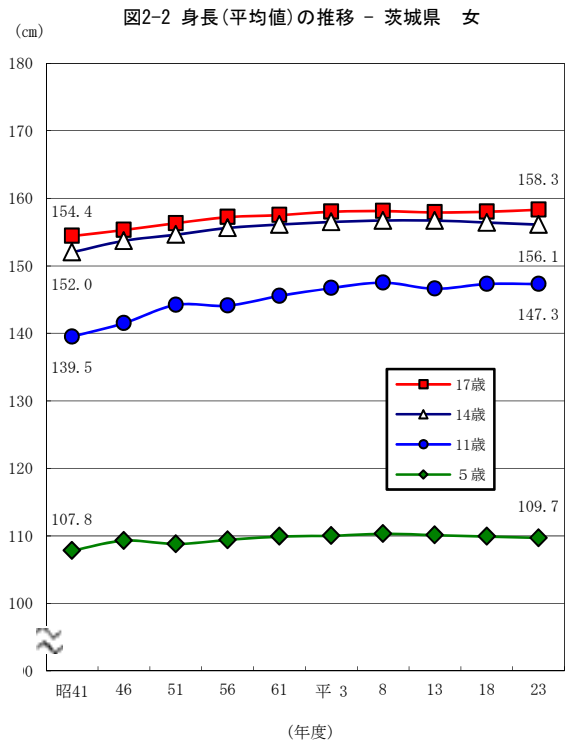
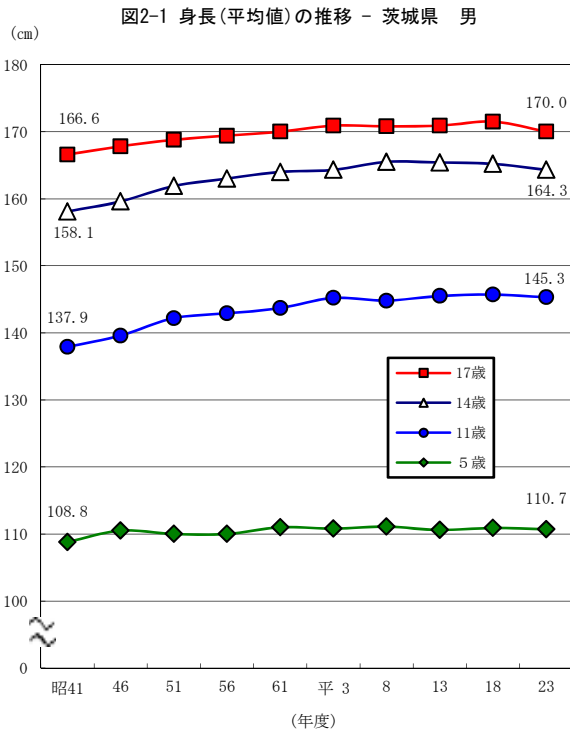
表1 男女別年齢別 身長 (平均値) - 茨城県

(単位:cm)

区分	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
男	23年度	110.7	116.8	122.6	128.7	134.0	<u>139.6</u>	145.3	152.9	159.4	164.3	168.6	169.7	170.0
	22年度	110.7	116.5	122.8	128.0	133.6	139.2	145.8	152.5	159.5	164.9	168.9	169.8	170.4
	差	—	0.3	△0.2	0.7	0.4	0.4	△0.5	0.4	△0.1	△0.6	△0.3	△0.1	△0.4
女	23年度	109.7	115.3	121.9	127.6	133.6	140.3	147.3	151.6	154.6	156.1	156.9	156.8	<u>158.3</u>
	22年度	109.9	116.1	121.9	127.6	133.4	139.9	147.0	152.3	154.8	156.9	157.2	157.6	157.9
	差	△0.2	△0.8	—	—	0.2	0.4	0.3	△0.7	△0.2	△0.8	△0.3	△0.8	0.4
23年度男女差	1.0	1.5	0.7	1.1	0.4	△0.7	△2.0	1.3	4.8	8.2	11.7	12.9	11.7	

(注) 下線部分は、調査実施以来の過去最高を示す。以下同じ。





(2) 体 重

男子の体重は、 8～10歳、16～17歳で前年度より増えている。各年齢間の体重差は、14歳と15歳の間が6.5kgと最も大きく、16歳と17歳の間が0.1kgと最も小さい。なお、16歳の63.4kgは過去最高となっている。

女子の体重は、7歳、9～11歳、13歳、16～17歳で前年度より増えている。各年齢間の体重差は、10歳と11歳の間が6.3kgと最も大きく、16歳と17歳の間が0.7kgと最も小さい。

また、11歳では1.7kg男子の体重が女子の体重を下回っている。

(表2, 図3・4-1・4-2)

表2 男女別年齢別 体重 (平均値) - 茨城県

(単位:kg)

区 分	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
男	23年度	19.1	21.7	24.5	27.9	31.1	34.9	39.2	44.8	49.2	53.7	60.2	63.4	63.5
	22年度	19.3	21.7	24.8	27.2	31.0	34.7	39.5	45.3	49.7	54.6	60.5	62.4	62.9
	差	△0.2	—	△0.3	0.7	0.1	0.2	△0.3	△0.5	△0.5	△0.9	△0.3	1.0	0.6
女	23年度	18.8	20.8	24.0	27.1	30.4	34.6	40.9	44.3	47.9	50.9	52.0	53.8	54.5
	22年度	19.0	21.8	23.9	27.3	30.1	34.2	39.8	44.9	47.8	51.4	52.9	52.6	53.7
	差	△0.2	△1.0	0.1	△0.2	0.3	0.4	1.1	△0.6	0.1	△0.5	△0.9	1.2	0.8
23年度男女差	0.3	0.9	0.5	0.8	0.7	0.3	△1.7	0.5	1.3	2.8	8.2	9.6	9.0	

図3 男女別年齢別 体重（平均値・標準偏差） - 茨城県

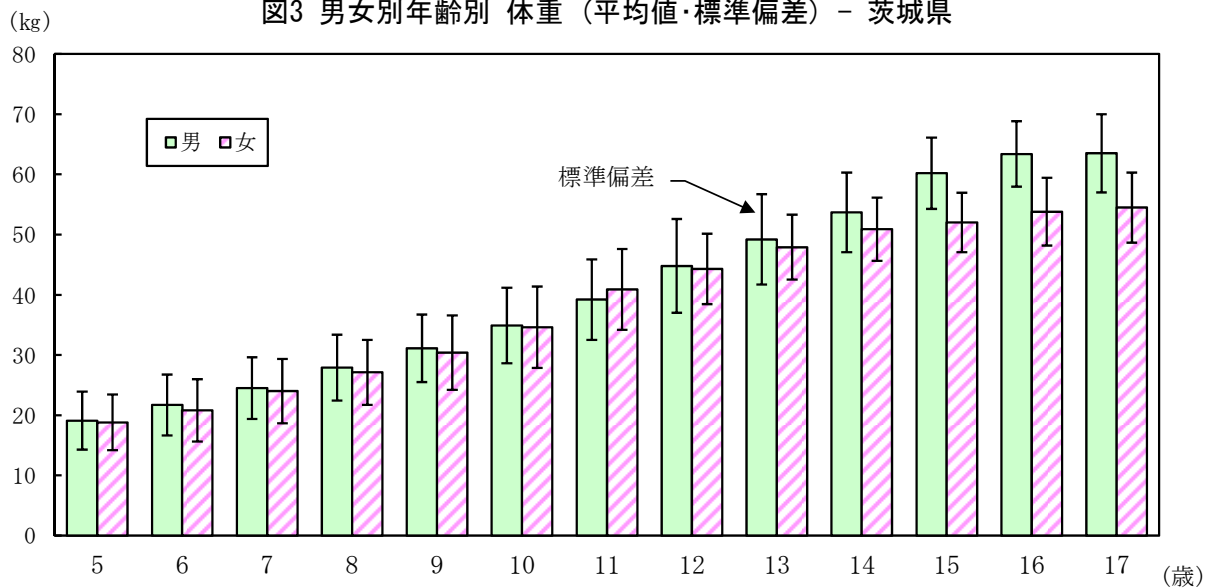


図4-1 体重(平均値)の推移 - 茨城県 男

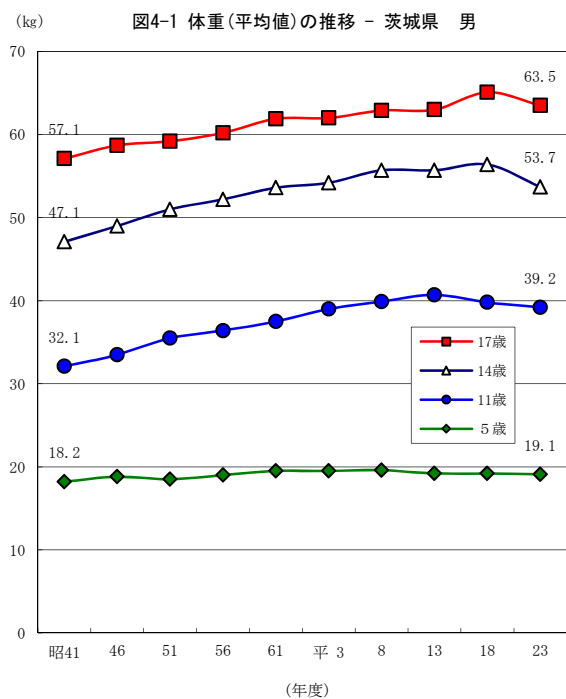
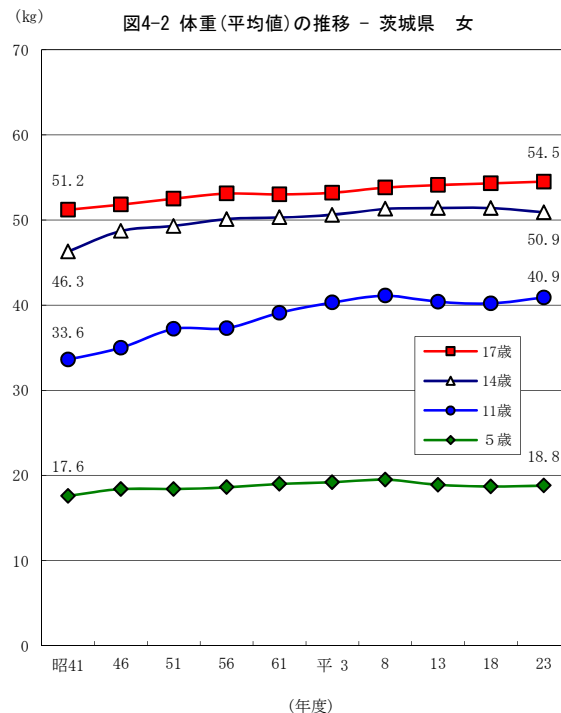


図4-2 体重(平均値)の推移 - 茨城県 女



(3) 座 高

男子の座高は、6～10歳、12歳で前年度より伸びている。各年齢間の座高差は、11歳と12歳の間が3.6cmと最も大きく、16歳と17歳の間が0.4cmと最も小さい。

女子の座高は、7歳、9～11歳、13歳で前年度より伸びている。各年齢間の座高差は、10歳と11歳の間が3.6cmと最も大きく、14歳と15歳は同値で、差が最も小さい。なお、11歳の79.8cmは過去最高となっている。

また、10歳で0.7cm、11歳で1.9cm、12歳で0.5cm、男子の座高が女子の座高を下回っている。

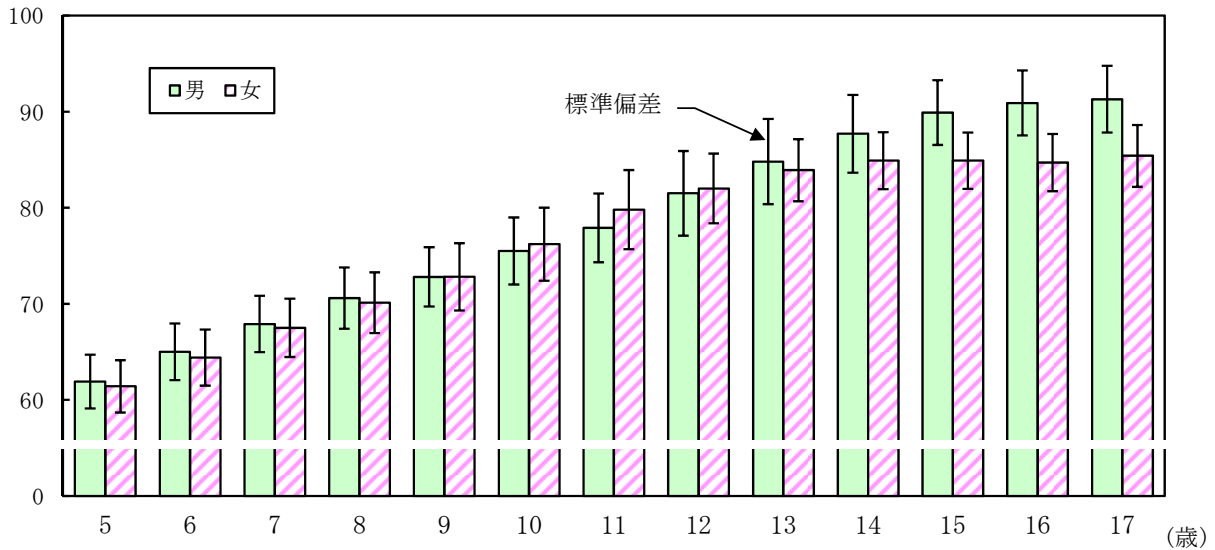
(表3, 図5・6-1・6-2)

表3 男女別年齢別 座高（平均値） - 茨城県

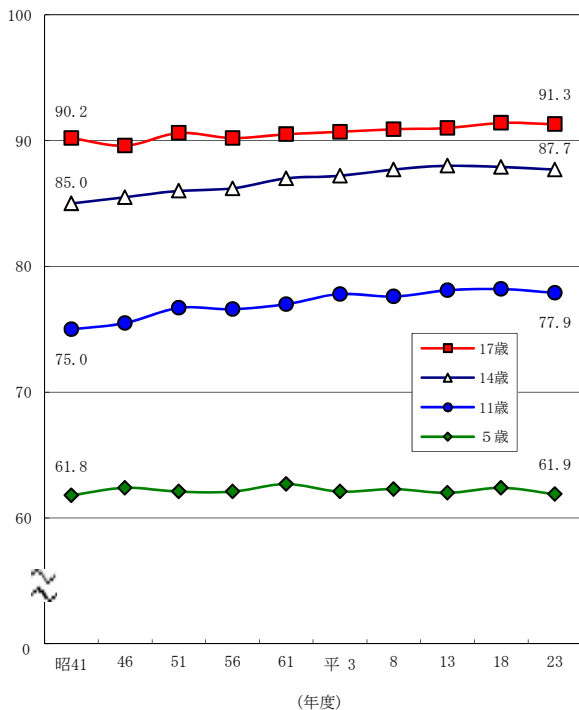
(単位:cm)

区分	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
男	23年度	61.9	65.0	67.9	70.6	72.8	75.5	77.9	81.5	84.8	87.7	89.9	90.9	91.3
	22年度	62.1	64.8	67.8	70.2	72.7	75.1	78.1	81.3	84.9	88.0	90.5	91.2	91.5
	差	△0.2	0.2	0.1	0.4	0.1	0.4	△0.2	0.2	△0.1	△0.3	△0.6	△0.3	△0.2
女	23年度	61.4	64.4	67.5	70.1	72.8	76.2	<u>79.8</u>	82.0	83.9	84.9	84.9	84.7	85.4
	22年度	61.8	64.7	67.4	70.1	72.7	75.7	79.4	82.2	83.8	85.0	85.5	85.6	85.6
	差	△0.4	△0.3	0.1	—	0.1	0.5	0.4	△0.2	0.1	△0.1	△0.6	△0.9	△0.2
23年度男女差	0.5	0.6	0.4	0.5	—	△0.7	△1.9	△0.5	0.9	2.8	5.0	6.2	5.9	

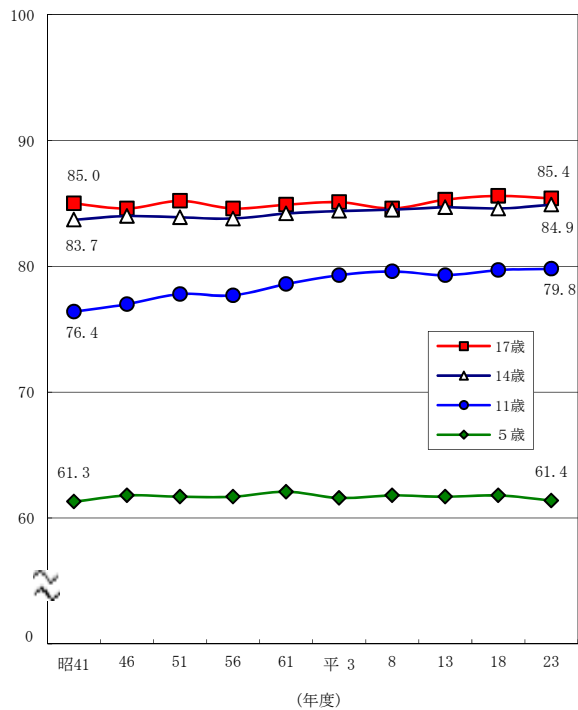
(cm) 図5 男女別年齢別 座高（平均値・標準偏差） - 茨城県



(cm) 図6-1 座高(平均値)の推移 - 茨城県 男



(cm) 図6-2 座高(平均値)の推移 - 茨城県 女



2 全国値との比較

身長を全国平均値と比較してみると、男子は5～12歳、15歳で、女子は5歳、7～11歳、17歳で全国平均以上になっている。

体重は、男子は14歳以外で、女子は全年齢で全国平均以上になっている。

座高は、男子は6～12歳で、女子は5～11歳、13～14歳で全国平均以上になっている。

(表4)

表4 男女別年齢別 体格 (平均値) [全国値との比較]

区 分		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
身長 (cm)	茨城県	110.7	116.8	122.6	128.7	134.0	139.6	145.3	152.9	159.4	164.3	168.6	169.7	170.0
	全国	110.5	116.6	122.6	128.2	133.5	138.8	145.0	152.3	159.6	165.1	168.3	169.9	170.7
	差	0.2	0.2	—	0.5	0.5	0.8	0.3	0.6	△0.2	△0.8	0.3	△0.2	△0.7
身長 (cm)	茨城県	109.7	115.3	121.9	127.6	133.6	140.3	147.3	151.6	154.6	156.1	156.9	156.8	158.3
	全国	109.5	115.6	121.6	127.4	133.5	140.2	146.7	151.9	155.0	156.6	157.1	157.6	158.0
	差	0.2	△0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.6	△0.3	△0.4	△0.5	△0.2	△0.8	0.3
体重 (kg)	茨城県	19.1	21.7	24.5	27.9	31.1	34.9	39.2	44.8	49.2	53.7	60.2	63.4	63.5
	全国	18.9	21.3	24.0	27.0	30.3	33.8	38.0	43.8	49.0	54.2	59.4	61.3	63.1
	差	0.2	0.4	0.5	0.9	0.8	1.1	1.2	1.0	0.2	△0.5	0.8	2.1	0.4
体重 (kg)	茨城県	18.8	20.8	24.0	27.1	30.4	34.6	40.9	44.3	47.9	50.9	52.0	53.8	54.5
	全国	18.5	20.8	23.4	26.4	29.8	34.0	38.8	43.6	47.1	49.9	51.4	52.4	52.8
	差	0.3	—	0.6	0.7	0.6	0.6	2.1	0.7	0.8	1.0	0.6	1.4	1.7
座高 (cm)	茨城県	61.9	65.0	67.9	70.6	72.8	75.5	77.9	81.5	84.8	87.7	89.9	90.9	91.3
	全国	62.0	64.9	67.7	70.2	72.6	74.9	77.6	81.2	84.9	88.1	90.3	91.3	91.9
	差	△0.1	0.1	0.2	0.4	0.2	0.6	0.3	0.3	△0.1	△0.4	△0.4	△0.4	△0.6
座高 (cm)	茨城県	61.4	64.4	67.5	70.1	72.8	76.2	79.8	82.0	83.9	84.9	84.9	84.7	85.4
	全国	61.4	64.4	67.2	69.9	72.7	75.9	79.2	82.1	83.9	84.9	85.4	85.6	85.8
	差	—	—	0.3	0.2	0.1	0.3	0.6	△0.1	—	—	△0.5	△0.9	△0.4

3 他県との比較

身長を2歳ごとに他県の平均値と比較してみると、男子は5歳、9歳で、女子は7歳、11歳、17歳で全国10位以内になっている。

体重は、男子は13歳、17歳以外と、女子は全年齢で全国10位以内になっている。

座高は、男子は7歳、9歳で、女子は7歳、11歳で全国10位以内になっている。

(表5)

表5 男女別年齢別 体格（平均値）〔他県との比較〕

区 分	5歳		7歳		9歳		11歳		13歳		15歳		17歳			
	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位		
身長 (cm)	男	茨城県	110.7	9 (19)	122.6	14 (10)	134.0	6 (19)	145.3	12 (7)	159.4	22 (27)	168.6	12 (10)	170.0	38 (27)
		最高値	111.4	秋田 福井	124.1	秋田	135.1	秋田	146.6	青森 秋田	161.8	秋田	169.6	青森	171.9	青森 鳥取
	女	茨城県	109.7	12 (16)	121.9	8 (10)	133.6	19 (29)	147.3	10 (12)	154.6	29 (24)	156.9	24 (16)	158.3	10 (22)
		最高値	110.2	青森 群馬 新潟	123.0	秋田	135.4	秋田	148.3	青森	156.3	秋田	158.1	京都	158.7	山形 石川
体重 (kg)	男	茨城県	19.1	6 (7)	24.5	5 (5)	31.1	6 (12)	39.2	6 (8)	49.2	16 (17)	60.2	10 (10)	63.5	15 (30)
		最高値	19.6	徳島	25.3	秋田	32.1	秋田	40.6	青森	51.6	青森 秋田	61.3	青森	66.2	秋田
	女	茨城県	18.8	4 (5)	24.0	3 (8)	30.4	7 (23)	40.9	2 (10)	47.9	7 (12)	52.0	9 (4)	54.5	1 (7)
		最高値	19.2	青森	24.7	秋田	32.0	青森	41.4	青森	49.2	秋田	53.4	秋田	54.5	茨城
座高 (cm)	男	茨城県	61.9	24 (12)	67.9	8 (10)	72.8	8 (17)	77.9	11 (7)	84.8	23 (25)	89.9	36 (13)	91.3	41 (41)
		最高値	62.7	島根	68.6	秋田	73.5	秋田	78.5	青森 秋田	86.2	秋田	91.1	青森	92.6	鳥取
	女	茨城県	61.4	19 (6)	67.5	4 (15)	72.8	15 (24)	79.8	4 (14)	83.9	17 (20)	84.9	42 (14)	85.4	39 (30)
		最高値	62.0	新潟	67.9	秋田	73.8	秋田	80.1	青森	84.9	秋田	86.1	青森	86.5	滋賀

(注) 茨城県の順位欄のカッコ内の数字は、平成22年度の順位。
岩手県、宮城県及び福島県は、調査対象となっていない。

4 親の世代(昭和56年度)との比較

身長を子供たちの親の世代である30年前(昭和56年度)と比較してみると、最も身長差が大きい年齢は、男子は12歳の3.1cm、女子は11歳の3.2cmである。なお、子の世代で、親の世代の17歳の身長を上回ったのは、男子は16歳の169.7cmで、女子は17歳の158.3cmである。

また、男女とも全年齢で、親の世代の身長を上回っている。

体重を比較してみると、最も体重差が大きい年齢は、男子は16歳の3.9kg、女子は11歳の3.6kgである。なお、子の世代で、親の世代の17歳の体重を上回ったのは、男子は16歳の63.4kg、女子は16歳の53.8kgである。

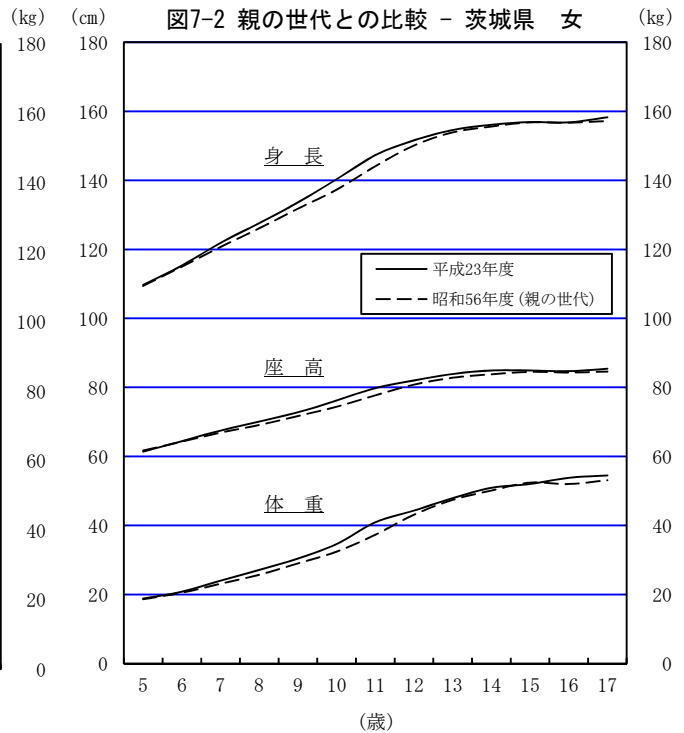
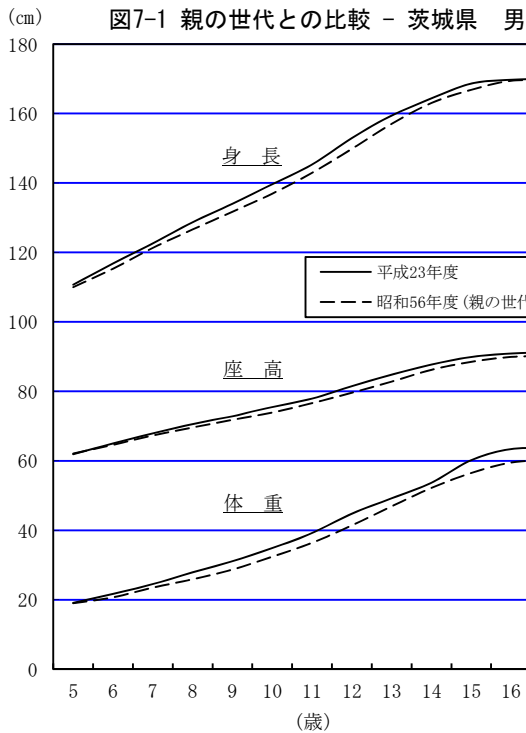
また、男子は全年齢で、女子は15歳以外で親の世代の体重を上回っている。

座高を比較してみると、最も座高差が大きい年齢は、男子は13歳の2.0cm、女子は11歳の2.1cmである。なお、子の世代で、親の世代の17歳の座高を上回ったのは、男子は16歳の90.9cm、女子は14歳の84.9cmである。

(表6, 図7-1・7-2)

表6 男女別年齢別 体格（平均値）〔親の世代との比較〕 - 茨城県

区 分		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
身長 (cm)	男	平成23年度	110.7	116.8	122.6	128.7	134.0	139.6	145.3	152.9	159.4	164.3	168.6	169.7	170.0
		昭和56年度	110.0	115.3	121.3	126.6	131.7	136.9	142.9	149.8	157.0	163.0	166.8	169.4	169.4
	差	0.7	1.5	1.3	2.1	2.3	2.7	2.4	3.1	2.4	1.3	1.8	0.3	0.6	
	女	平成23年度	109.7	115.3	121.9	127.6	133.6	140.3	147.3	151.6	154.6	156.1	156.9	156.8	158.3
昭和56年度		109.4	115.0	120.7	126.1	131.8	137.3	144.1	150.1	153.9	155.6	156.8	156.7	157.2	
差	0.3	0.3	1.2	1.5	1.8	3.0	3.2	1.5	0.7	0.5	0.1	0.1	1.1		
体重 (kg)	男	平成23年度	19.1	21.7	24.5	27.9	31.1	34.9	39.2	44.8	49.2	53.7	60.2	63.4	63.5
		昭和56年度	19.0	20.7	23.5	25.9	28.7	32.4	36.4	41.4	46.9	52.2	56.5	59.5	60.2
	差	0.1	1.0	1.0	2.0	2.4	2.5	2.8	3.4	2.3	1.5	3.7	3.9	3.3	
	女	平成23年度	18.8	20.8	24.0	27.1	30.4	34.6	40.9	44.3	47.9	50.9	52.0	53.8	54.5
昭和56年度		18.6	20.5	23.1	25.7	29.0	32.4	37.3	43.1	47.4	50.1	52.4	52.0	53.1	
差	0.2	0.3	0.9	1.4	1.4	2.2	3.6	1.2	0.5	0.8	△0.4	1.8	1.4		
座高 (cm)	男	平成23年度	61.9	65.0	67.9	70.6	72.8	75.5	77.9	81.5	84.8	87.7	89.9	90.9	91.3
		昭和56年度	62.1	64.6	67.3	69.6	71.8	73.9	76.6	79.6	82.8	86.2	88.5	89.9	90.2
	差	△0.2	0.4	0.6	1.0	1.0	1.6	1.3	1.9	2.0	1.5	1.4	1.0	1.1	
	女	平成23年度	61.4	64.4	67.5	70.1	72.8	76.2	79.8	82.0	83.9	84.9	84.9	84.7	85.4
昭和56年度		61.7	64.3	66.9	69.1	71.7	74.4	77.7	80.8	82.8	83.8	84.5	84.3	84.6	
差	△0.3	0.1	0.6	1.0	1.1	1.8	2.1	1.2	1.1	1.1	0.4	0.4	0.8		



5 年間発育量

(1) 身長

17歳（平成5年度生まれ）の身長の年間発育量を見てみると、男子では5～13歳時に発育量が著しくなっており、11歳時に最大の発育量を示している。

女子では5～10歳時に発育量が著しくなっており、10歳時に最大の発育量を示している。最大の発育量を示す年齢は、女子のほうが男子に比べて1歳早くなっている。

また、年間発育量を親の世代の17歳（昭和38年度生まれ）と比較すると、男子では、子の世代（平成5年度生まれ）の発育量が最大となる時期（11歳時）は、親の世代より1歳早くなっており、5～8歳、11歳の各歳でも親の世代を上回っている。

女子については、子の世代（平成5年度生まれ）の発育量が最大となる時期（10歳時）は、親の世代と同じ年齢で、5～10歳、13歳、16歳で親の世代を上回っている。

（表7、図8-1・8-2）

表7 平成5年度生まれと昭和38年度生まれの者の年間発育量の比較（身長） - 茨城県

（単位：cm）

区 分		男				女			
		平成5年度生まれ (平成23年度 17歳)		昭和38年度生まれ (昭和56年度 17歳)		平成5年度生まれ (平成23年度 17歳)		昭和38年度生まれ (昭和56年度 17歳)	
		身長	年間発育量	身長	年間発育量	身長	年間発育量	身長	年間発育量
総 発 育 量		59.1		60.2		48.4		48.9	
幼 稚 園	5歳(歳時)	110.9	5.5	109.2	5.3	109.9	5.7	108.3	5.3
	6歳(歳時)	116.4	6.1	114.5	5.6	115.6	6.3	113.6	5.5
小 学 校	7歳(歳時)	122.5	6.0	120.1	5.5	121.9	5.8	119.1	5.7
	8歳(歳時)	128.5	5.7	125.6	5.1	127.7	6.0	124.8	5.8
	9歳(歳時)	134.2	4.9	130.7	5.4	133.7	6.8	130.6	6.5
	10歳(歳時)	139.1	5.7	136.1	5.7	140.5	6.9	137.1	6.7
	11歳(歳時)	144.8	8.1	141.8	6.8	147.4	4.8	143.8	5.5
中 学 校	12歳(歳時)	152.9	6.6	148.6	7.5	152.2	2.7	149.3	4.2
	13歳(歳時)	159.5	5.9	156.1	6.4	154.9	1.8	153.5	1.7
	14歳(歳時)	165.4	3.2	162.5	4.2	156.7	0.6	155.2	0.6
高 等 学 校	15歳(歳時)	168.6	1.2	166.7	2.3	157.3	0.3	155.8	1.0
	16歳(歳時)	169.8	0.2	169.0	0.4	157.6	0.7	156.8	0.4
	17歳(歳時)	170.0	*	169.4	*	158.3	*	157.2	*

- (注) 1 「身長」は、例えば、平成5年度生まれ(平成23年度 17歳)の「5歳」の身長は平成11年度調査の5歳の者の身長であり、「6歳」の身長は平成12年度調査の6歳の者の身長である。
 2 昭和38年度生まれ(昭和56年度 17歳)の者の「6歳」(昭和45年度調査)の身長は、茨城県平均値が集計されていないため、全国平均値を用いた。
 3 「年間発育量」とは、例えば、平成5年度生まれの5歳時の年間発育量は、平成12年度調査の6歳の者の身長から、平成11年度調査の5歳の者の身長を差し引いたものである。
 4 網掛け部分は、最大の年間発育量を示す。以上の1から4までは、以下の表において同様。

図8-1 年間発育量の比較(身長) - 茨城県 男

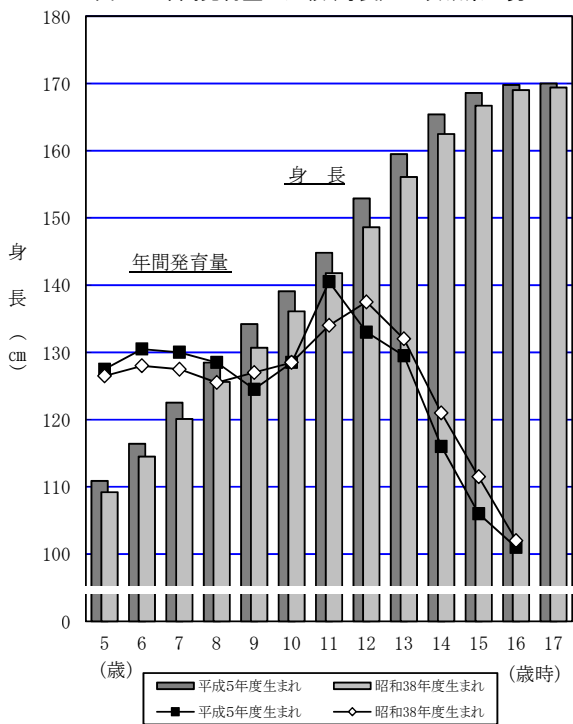
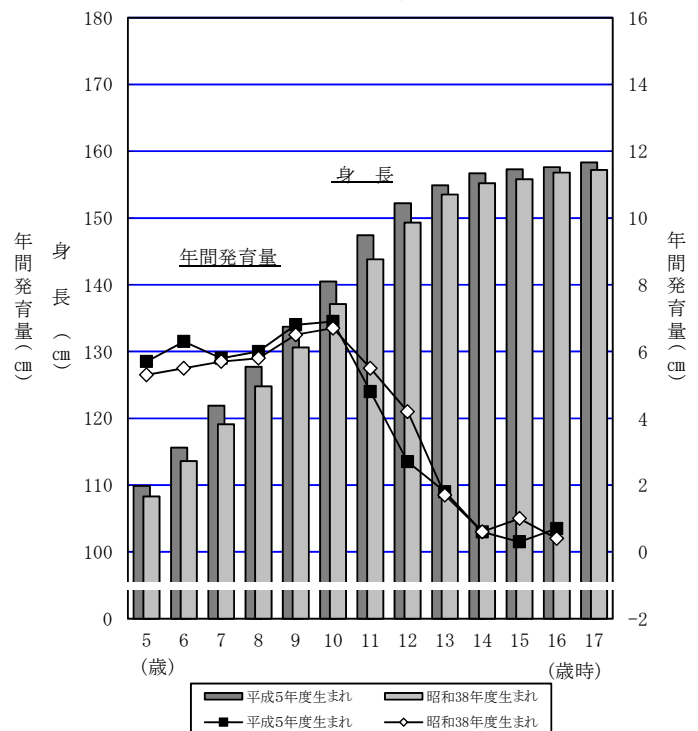


図8-2 年間発育量の比較(身長) - 茨城県 女



(2) 体 重

17歳（平成5年度生まれ）の体重の年間発育量をみると、男子では10～14歳時に発育量が著しくなっており、11歳時に最大の発育量を示している。

女子では、9～11歳時に発育量は著しくなっており、10歳時に最大の発育を示している。

また、年間発育量を親の世代の17歳（昭和38年度生まれ）と比較すると、男子では、子の世代（平成5年度生まれ）の発育量が最大となる時期（11歳時）は、親の世代より2歳早くなっており、5～8歳、10～11歳、14歳、16歳で親の世代を上回っている。

女子については、子の世代（平成5年度生まれ）の発育量が最大となる時期（10歳時）は親の世代より1歳早く、5歳、7歳、9～10歳、13歳、15～16歳で親の世代を上回っている。

（表8、図9-1・9-2）

表8 平成5年度生まれと昭和38年度生まれの者の年間発育量の比較（体重） - 茨城県

（単位：kg）

区 分	男				女			
	平成5年度生まれ (平成23年度 17歳)		昭和38年度生まれ (昭和56年度 17歳)		平成5年度生まれ (平成23年度 17歳)		昭和38年度生まれ (昭和56年度 17歳)	
	体 重	年間発育量	体 重	年間発育量	体 重	年間発育量	体 重	年間発育量
総 発 育 量	43.9		41.7		35.4		35.1	
幼 稚 園	5歳(歳時)		18.5		19.1		18.0	
小 学 校	6歳(歳時)		20.1		21.7		19.5	
	7歳(歳時)		22.5		24.2		22.0	
	8歳(歳時)		25.5		27.9		25.0	
	9歳(歳時)		28.1		30.9		28.0	
	10歳(歳時)		31.3		35.1		32.0	
	11歳(歳時)		35.1		40.2		36.7	
中 学 校	12歳(歳時)		40.5		45.2		42.0	
	13歳(歳時)		45.8		48.0		46.4	
	14歳(歳時)		51.7		50.9		49.1	
高 等 学 校	15歳(歳時)		56.3		51.0		51.4	
	16歳(歳時)		59.7		52.6		52.8	
	17歳(歳時)		60.2		54.5		53.1	

図9-1 年間発育量の比較(体重) - 茨城県 男

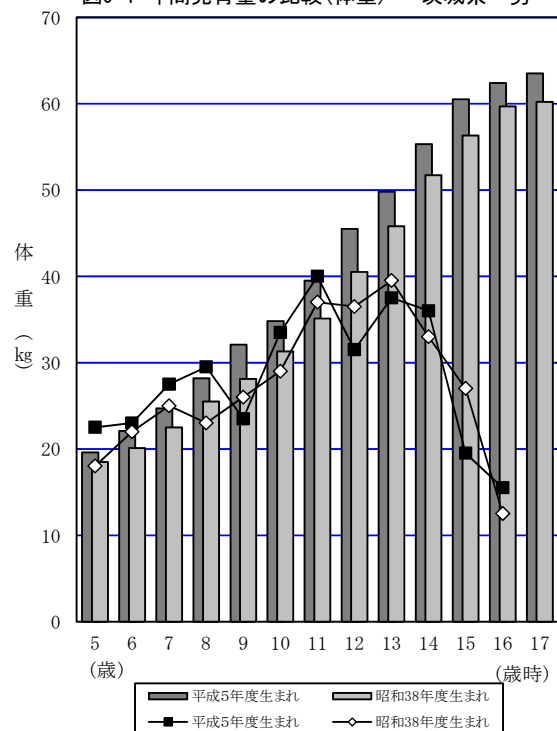
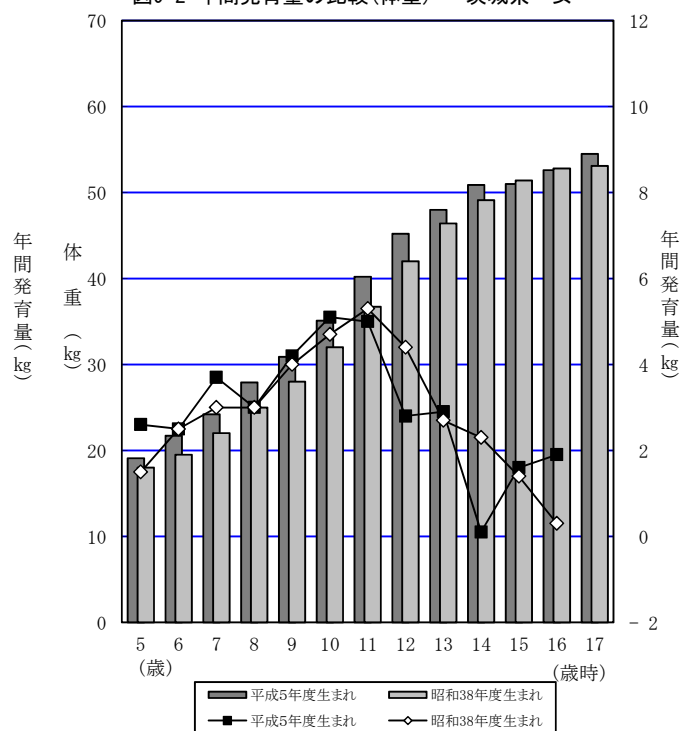
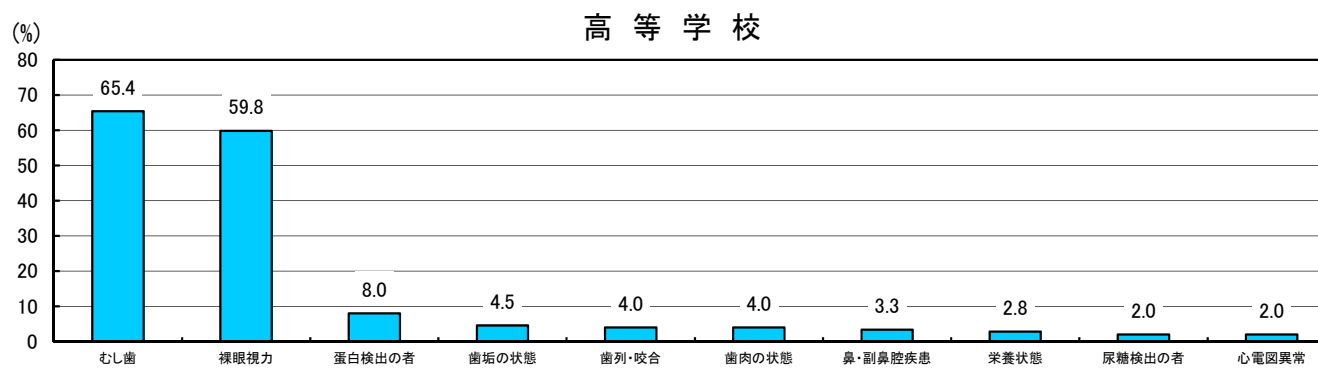
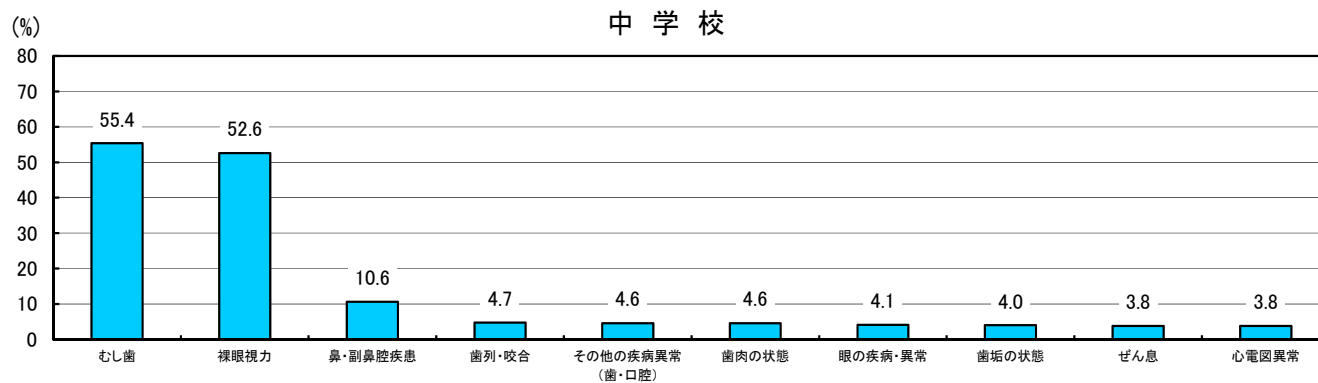
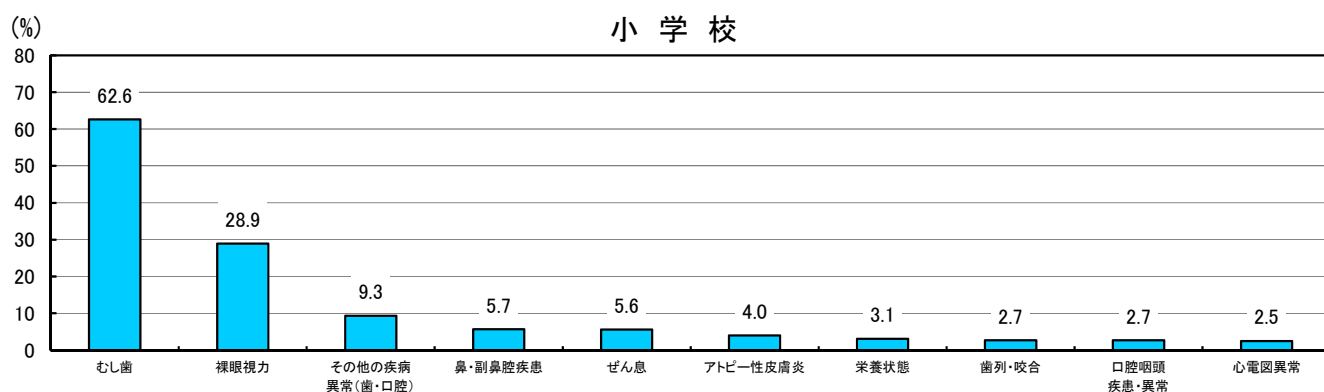
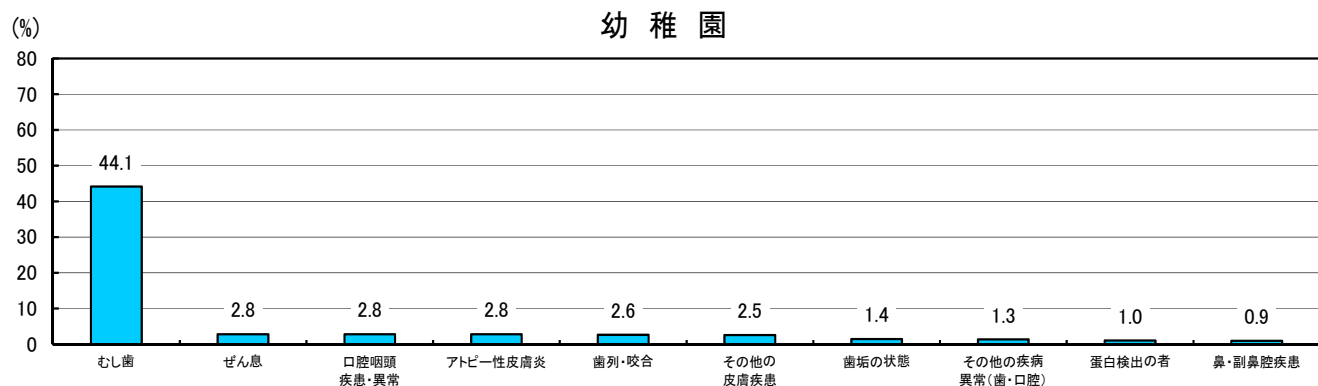


図9-2 年間発育量の比較(体重) - 茨城県 女



< B 健康状態 >

図 10 被患率の高い疾病・異常の現況（学校段階別）－ 茨城県



1 主な疾病・異常の被患率の推移

主な疾病・異常の被患率の推移をみると表9のとおりとなっている。

表9 主な疾病・異常の被患率の推移 (%)

		むし歯	裸眼視力 1.0未満	鼻・副鼻腔疾患	ぜん息	口腔疾患・咽頭・喉頭異常	蛋白検出	アトピー性皮膚炎
幼稚園	14	62.8	26.8	0.1	1.7	3.2	0.1	…
	18	60.9	X	1.0	4.1	2.0	0.2	4.3
	19	59.8	25.0	2.3	2.6	3.0	0.1	4.1
	20	52.9	X	0.8	2.2	1.2	0.6	3.3
	21	53.8	X	0.8	2.1	2.1	0.1	2.3
	22	53.8	23.0	1.3	2.5	4.5	-	3.1
	23	44.1	X	0.9	2.8	2.8	1.0	2.8
小学校	14	74.7	22.5	3.2	2.8	4.2	0.3	…
	18	71.9	23.7	6.0	3.8	2.8	0.3	3.5
	19	70.1	26.8	4.0	5.0	3.8	0.3	3.3
	20	69.5	26.9	5.5	4.0	3.0	0.3	3.5
	21	66.7	28.4	5.7	4.5	3.2	0.4	3.5
	22	64.3	29.5	8.0	5.6	2.2	0.4	4.2
	23	62.6	28.9	5.7	5.6	2.7	0.3	4.0
中学校	14	77.7	46.8	2.2	2.0	1.7	0.8	…
	18	68.1	45.4	3.9	2.5	1.1	1.2	2.2
	19	64.0	50.9	4.3	3.1	2.1	0.9	2.8
	20	61.6	51.2	5.5	2.9	1.1	1.0	2.8
	21	56.2	51.1	5.1	3.1	1.5	1.2	2.4
	22	58.1	52.2	6.6	2.5	1.7	1.2	2.6
	23	55.4	52.6	10.6	3.8	0.9	0.7	3.6
高等学校	14	83.2	62.3	4.9	1.9	1.0	1.2	…
	18	70.7	68.7	14.3	1.9	1.2	2.0	1.6
	19	71.9	64.4	2.2	1.4	0.3	3.5	1.3
	20	70.5	X	2.7	1.7	1.2	4.1	1.6
	21	61.4	64.6	4.3	1.7	0.2	4.1	1.6
	22	66.0	66.9	4.6	2.3	0.6	4.2	1.4
	23	65.4	59.8	3.3	1.9	1.4	8.0	1.7

(注) 平成15年度～17年度は都道府県別の数値は公表していない。
 平成14年度までの調査対象：調査実施校の各学年ごとに抽出された学級全員。
 平成18年度からの調査対象：調査実施校に在籍する全児童生徒。
 「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。
 「…」は調査対象とならなかった場合。
 小数点以下第2位を四捨五入している。以下の各表において同じ。

2 むし歯（う歯）のある者の割合

むし歯のある者の割合（処置完了者を含む。以下同じ。）は、幼稚園 44.1%、小学校 62.6%、中学校 55.4%、高等学校 65.4%となっており、全学校段階（幼稚園、小学校、中学校、高等学校）で、被患率が最も高い疾病・異常となっている。

前年度と比較すると、全学校段階で減少している。

全国と比較すると、幼稚園は 1.1 ポイント、小学校は 5.4 ポイント、中学校は 7.1 ポイント、高等学校は 6.9 ポイント全国平均を上回っている。

年齢別にみると 9 歳が 69.7%と最も高くなっている。

（表 9，表 10，図 11）

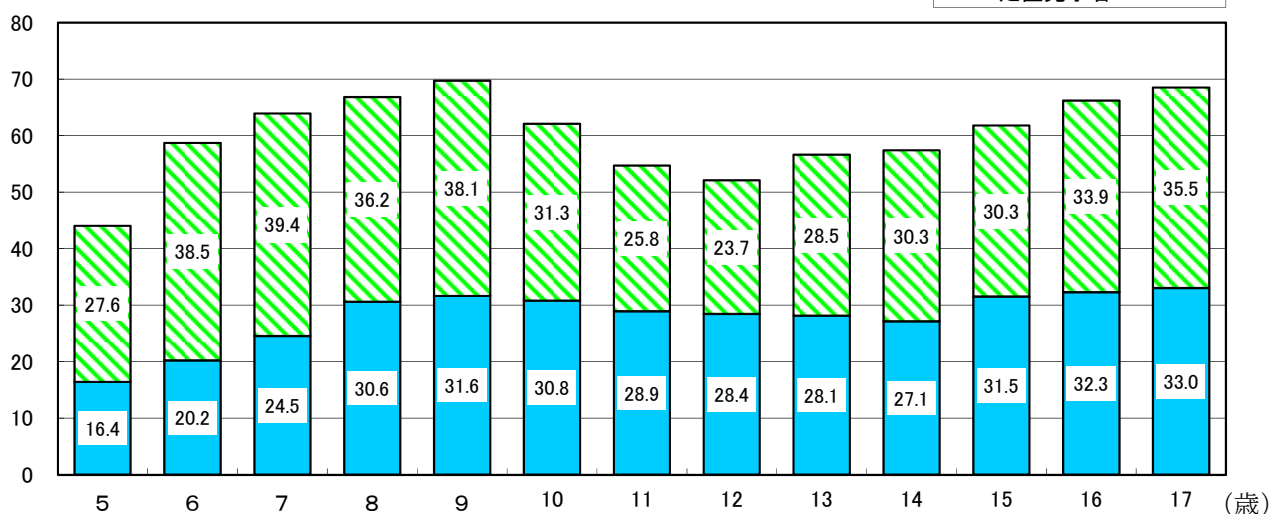
表10 学校段階別 むし歯の者の割合

（単位：％）

区分	計			処置完了者			未処置歯のある者			
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
幼稚園 (5歳)	茨城県	44.1	45.5	42.5	16.4	16.4	16.4	27.6	29.1	26.1
	全国	43.0	44.2	41.6	16.9	17.3	16.5	26.0	26.9	25.2
	差	1.1	1.3	0.9	△ 0.5	△ 0.9	△ 0.1	1.6	2.2	0.9
小学校	茨城県	62.6	63.9	61.3	27.9	28.1	27.6	34.8	35.8	33.7
	全国	57.2	59.0	55.3	28.7	29.1	28.2	28.6	29.9	27.2
	差	5.4	4.9	6.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.6	6.2	5.9	6.5
中学校	茨城県	55.4	54.4	56.3	27.8	26.2	29.6	27.5	28.3	26.7
	全国	48.3	46.5	50.2	26.8	24.9	28.7	21.6	21.6	21.5
	差	7.1	7.9	6.1	1.0	1.3	0.9	5.9	6.7	5.2
高等学校	茨城県	65.4	64.6	66.3	32.2	31.1	33.5	33.2	33.5	32.9
	全国	58.5	56.3	60.6	32.2	29.6	35.0	26.2	26.8	25.7
	差	6.9	8.3	5.7	-	1.5	△ 1.5	7.0	6.7	7.2

(%)

図11 年齢別 むし歯の者の割合 — 茨城県



3 裸眼視力 1.0 未満の者の割合

裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、小学校 28.9%、中学校 52.6%、高等学校 59.8%となっており、小学校、中学校、高等学校では2番目に被患率が高い疾病・異常となっている。

前年度と比較すると、中学校で上昇している。

全国と比較すると、小学校は 1.0 ポイント、高等学校では 1.1 ポイント全国平均を下回っているが、中学校は 1.0 ポイント上回っている。

年齢別にみると、0.3 未満の者の占める割合は、年齢が進むにつれて高くなっている傾向がある。

(表 9, 表 11, 図 12)

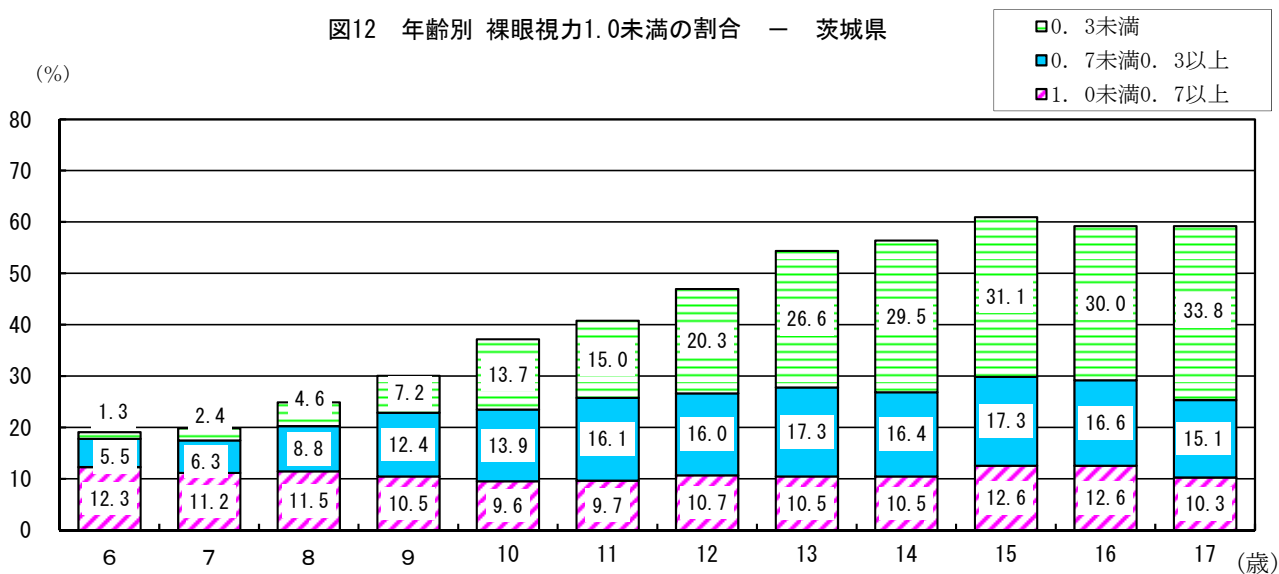
表11 学校段階別 裸眼視力1.0未満の者の割合

(単位：%)

区分		計			1.0未満～0.7以上			0.7未満～0.3以上			0.3未満		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
幼稚園 (5歳)	茨城県	X	X	29.9	X	X	21.8	X	X	7.1	X	X	1.0
	全国	25.5	24.3	26.7	19.1	18.5	19.7	5.8	5.2	6.4	0.6	0.5	0.6
	差	3.2	2.1	0.7	0.4
小学校	茨城県	28.9	25.5	32.4	10.8	9.6	11.9	10.6	9.6	11.7	7.5	6.3	8.7
	全国	29.9	27.1	32.9	10.6	9.8	11.5	11.3	10.4	12.3	8.0	6.9	9.1
	差	△ 1.0	△ 1.6	△ 0.5	0.2	△ 0.2	0.4	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.4
中学校	茨城県	52.6	45.9	59.7	10.6	10.1	11.0	16.6	15.1	18.1	25.5	20.6	30.7
	全国	51.6	47.3	56.0	11.8	11.8	11.8	17.5	16.7	18.4	22.3	18.8	25.9
	差	1.0	△ 1.4	3.7	△ 1.2	△ 1.7	△ 0.8	△ 0.9	△ 1.6	△ 0.3	3.2	1.8	4.8
高等学校	茨城県	59.8	52.4	67.6	11.8	11.3	12.4	16.4	16.1	16.7	31.6	25.0	38.5
	全国	60.9	60.2	61.6	11.4	12.0	11.0	16.1	17.2	15.1	33.4	31.1	35.6
	差	△ 1.1	△ 7.8	6.0	0.4	△ 0.7	1.4	0.3	△ 1.1	1.6	△ 1.8	△ 6.1	2.9

「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。

図12 年齢別 裸眼視力1.0未満の割合 — 茨城県



4 鼻・副鼻腔疾患の者の割合

鼻・副鼻腔疾患の者の割合は、幼稚園 0.9%、小学校 5.7%、中学校 10.6%、高等学校 3.3%となっており、前年度と比較すると、中学校で上昇している。

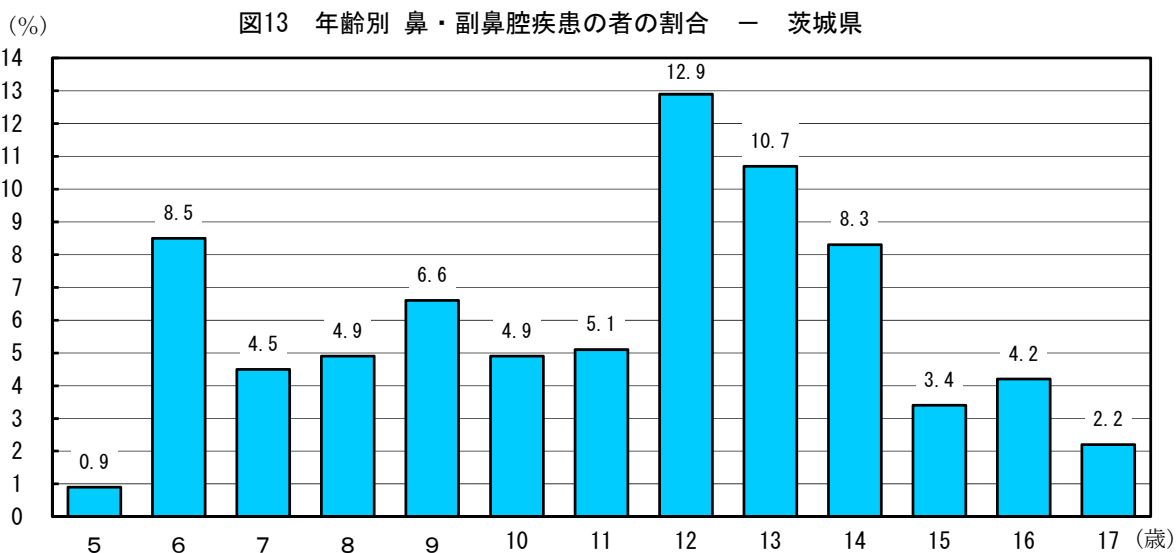
全国と比較すると、幼稚園、小学校、中学校、高等学校で全国平均を下回っている。

年齢別にみると、12歳が12.9%と最も高くなっている。

(表9, 表12, 図13)

表12 学校段階別 鼻・副鼻腔疾患の者の割合 (単位：%)

区 分		計	男	女
幼稚園 (5歳)	茨城県	0.9	1.4	0.4
	全 国	4.4	5.4	3.4
	差	△ 3.5	△ 4.0	△ 3.0
小学校	茨城県	5.7	6.4	5.0
	全 国	12.5	15.4	9.4
	差	△ 6.8	△ 9.0	△ 4.4
中学校	茨城県	10.6	11.9	9.3
	全 国	11.8	13.5	10.0
	差	△ 1.2	△ 1.6	△ 0.7
高等学校	茨城県	3.3	3.0	3.5
	全 国	8.8	9.7	7.9
	差	△ 5.5	△ 6.7	△ 4.4



5 ぜん息の者の割合

ぜん息の者の割合は、幼稚園 2.8%、小学校 5.6%、中学校 3.8%、高等学校 1.9%となっている。

前年度と比較すると、幼稚園、中学校では前年より上昇している。

全国と比較すると、小学校で 1.3 ポイント、中学校で 1.0 ポイント、全国平均を上回っており、幼稚園と高等学校は全国平均と同値になっている。

年齢別にみると、6歳が 7.2%と最も高くなっており、6～17歳では、年齢が上がるほど減少している。

(表 9, 表 13, 図 14)

表13 学校段階別 ぜんそくの者の割合 (単位：%)

区 分		計	男	女
幼稚園 (5歳)	茨城県	2.8	2.7	2.9
	全 国	2.8	3.2	2.3
	差	-	△ 0.5	0.6
小学校	茨城県	5.6	6.4	4.8
	全 国	4.3	5.2	3.4
	差	1.3	1.2	1.4
中学校	茨城県	3.8	4.5	3.1
	全 国	2.8	3.4	2.2
	差	1.0	1.1	0.9
高等学校	茨城県	1.9	2.1	1.6
	全 国	1.9	2.2	1.7
	差	-	△ 0.1	△ 0.1

図14 年齢別 ぜん息の者の割合 - 茨城県

